

報告事項（１）

令和３年度学校給食センターの事業実施状況について

1 学校別給食提供数について

令和４年１月１１日現在

小学校	食数	アレル ギー食	牛乳 停止	牛乳の み飲む	給食停止 (弁当持参)	中学校	食数	アレル ギー食	牛乳 停止	牛乳の み飲む	給食停止 (弁当持参)
白井第一小	225	0	0	0	0	白井中	195	0	1	0	0
白井第二小	109	0	0	0	0	大山口中	746	0	10	2	0
白井第三小	737	3	5	1	0	南山中	469	1	5	0	1
大山口小	627	2	2	1	2	七次台中	552	0	5	1	0
清水口小	426	1	1	1	2	計（４校）	1,962	1	21	3	1
南山小	520	3	4	1	0						
七次台小	734	2	5	1	0						
池の上小	440	0	9	0	0						
計（８校）	3,818	11	26	5	4	合計（食）	5,780	10	47	5	5

2 給食のおいしさ等アンケート結果の推移について

小学３・６年生及び中学２年生を対象にアンケートを実施しました。（別紙１参照）
アンケート結果、Ⅴ設問の「給食はおいしいですか」では、「とてもおいしい、まあおいしい」と答えた子どもたちは１回目 86.59%に対し、今回 92.55%と微増となりました。毎年実施するなかで、子どもたちの感想等の変化に把握でき役立つことができました。

3 食に関するアンケート結果について

小学５年生、中学１年生を対象に「苦手な食べ物」についてのアンケート調査を実施しました。【別紙２参照】

全体的に子どもたちの苦手な食べ物は、きのこ類が一番多く、野菜類、魚介類、貝類が次いで多いようです。

給食では食育の観点から、「様々な食品を食べる経験を増やす」「成長期に必要な栄養の確保」「バランスの良い食事」を基本に考え、給食を提供しています。

4 給食の食べ残しについて

令和３年１１月の残菜率は、学校ごとでは若干違いがありますが、小学校平均 15.8%、中学校平均 16.1%となります。【別紙３参照】

残菜を減らす取り組み

- 栄養士による栄養指導を実施
- 各学校で「食に関する全体指導計画」を作成し、食育に取り組んでいる。
- 新メニューの開発、提供。調理業者と食べやすい味付け、調理方法、切り方等について打合せを実施。
- 各学校に給食意見箱を設置、意見に対し回答
- 小学3年生の市内巡りなどで、給食センターでの調理見学
- モデル校として、小学校1校で「ペロリンピック」と称し、食べ残しゼロを目指す取り組みを実施。実績結果を取りまとめたうえ、各校へ実施の提案。
- ICTを活用した試験的な食育の取り組み。
- 「給食のおいしさ等アンケート」を実施し、児童生徒の意見の把握。

5 食物アレルギー実態調査結果について

令和3年度市内小学校と中学校の食物アレルギー実態調査のまとめになります。【別紙4-1、4-2参照】

食物アレルギーについて、何のアレルギーが何人いるのか毎年学校別に調査を実施しています。食物アレルギーを持つ児童生徒の結果から小学生299人、中学生143人、合計442名で全体の1割弱が何らかの食物アレルギーをもっていることが分かりました。

また、2.3 学校別・食材別アレルギー児童生徒数では、食材別アレルギーの内容が示されています。「卵」から「かに」まで、特定原材料7品目としての表示が示されているものになります。「あわび」から「ゼラチン」までの21品目が、特定原材料に準じるものとして表示が推奨されています。

実態調査から分析すると、卵、乳のアレルギーが一番多く、落花生、えび、そば、かに、小麦の順となります。

エピペン、薬を所持している児童・生徒の集計を見ると、エピペンを持っているは、20名、薬を持っている児童生徒は33名でした。

食物アレルギー等により給食を停止している児童生徒は8名、飲用牛乳を停止している児童生徒は58名となります。

また、給食を配膳する際に自分でアレルゲンを除去するなどの対応で、給食を食べている児童生徒は88名となります。

6 給食費の収納状況について

(1) 令和3年12月末現在の収納状況

	調定額	収入済額	未納額	徴収率(%)
現年分	213,543,860	205,179,140	8,364,720	96.08
過年分	13,392,009	1,393,680	11,998,329	10.41

(2) 徴収対策

- ・口座振替の推進

生活保護、準要保護、教育実習生以外は口座振替により納付いただいている。

- ・児童手当からの納付の依頼

年3回支給される児童手当から、延べ35人分、739,990円を給食費に充てることができた。

- ・戸別訪問を12月に実施した。また電話による催告を都度実施している。

7 新型コロナウイルス感染症に伴う学級閉鎖等について

令和4年2月1日現在

小学校	学校閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	中学校	学校閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖
白井第一小	0	0	0	白井中	0	0	0
白井第二小	0	0	0	大山口中	0	0	1年 (1クラス)
白井第三小	0	0	2・3・4年 (4クラス)	南山中	0	0	1・2・3年 (4クラス)
大山口小	全学年	0	1・5・6年 (6クラス)	七次台中	全学年	1.2年	1.2年 (2クラス)
清水口小	全学年	0	1・4・5年 (4クラス)				
南山小	0	0	4・5・6年 (3クラス)				
七次台小	0	0	1.2.4・6年 (8クラス)				
池の上小	0	0	5年 (1クラス)				